

日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区
バリアフリー基本構想 第4回策定協議会

議 事 要 旨

日時 : 平成24年 3月13日 (火) 15:00~16:00

場所 : サンパール荒川 5階第7集会室

出席者 : 4頁参照

議事次第 :

- 1 開会
- 2 パブリックコメントの報告
- 3 日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区バリアフリー基本構想(案)の報告
- 4 その他

配布資料 :

- ・ 次第・席次表
- ・ 資料

資料1 : パブリックコメント集計表

資料2 : 日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅バリアフリー基本構想概要版(案)

資料3 : 日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区バリアフリー基本構想(案)冊子

その他 : 第3回策定協議会議事録

【議事要旨】

1 開会

- ・事務局より配布資料の確認

2 パブリックコメントの報告

- ・事務局より「資料1」を用いてパブリックコメントの結果について説明
- ・事務局より、小学生の絵を用いた町屋駅周辺の放置自転車対策について報告
- ・副会長より来年度に向けた住民部会結果の報告

<副会長>

・住民部会は3回開催した。グループワーク形式で、各団体の代表者がお互いの状況・活動を知ることができるような内容で実施した。第1回住民部会では、各団体の代表としての発言が多く見られた。まちの中を点検しながら一緒に歩くことや回を重ねることで、お互いが困っていることに対する理解が深まると実感した。第3回住民部会では大きな変化が見られた。自助共助という考え方に基づき問題点や改善案等を出し合うというグループワークであった。その中で、より深刻な問題を抱える方への対応の優先順位を上げるなど、折り合いをつけなければ街づくりが完成しないという考え方が浸透してきたように思う。行政でなければ出来ないこと、住民が自ら行動を起こすことで成立することの仕分けを意識した提案が見られたことは大変大きな成果である。来年度以降の心のバリアフリーにつながると感じた。お互いの特徴や個性を知りあうことが自助の第一歩である。コミュニケーションの場、かつ自助の部分掘り下げた議論を行う場であるという住民部会の役割がはっきりとした。住民部会では、具体的にどのような人材がどのようなことが出来るかという提案がなされている。また、公共交通機関等の事業者の取組に対して感謝しているとのことであり、整備が進んでいることも認識されていた。ハード面での整備だけでなく、それらをより良く活用するためには、自分たちのマナー向上が必要ということを確認し合うことが出来た。住民部会を通じて理解を深めることが心のバリアフリーの一歩であり、来年度には、より具体的なアクションにつなげられる段階にあるだろう。

<会長>

・住民部会を今後どう活かすかということを検討してもらいたい。住民部会は、基本構想策定段階には行政支援を受けるため、目標設定等がしやすい。しかし、基本構想策定後は、提案したものが実際に活かされているのかどうか等についてのモニタリングが難しく、活動の継続への障壁になりやすい。行政側は、基本構想を策定したら住民部会は終了と考えるのではなく、住民をまとめて次のプロセスへと導いていくようなアプローチを検討して頂けるとありがたい。基本構想でもスパイラルアップという文言が使われている。今後、どのように住民の声を反映していくかということについて検討頂きたい。

3 日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区バリアフリー基本構想（案）の報告について

- ・事務局より「資料2」「資料3」を用いて基本構想案の内容について説明
- ・質疑応答

<委員>

- ・心のバリアフリー等は、住民の気づきから始まるという点は同感である。住民部会でもお互いの理解が深まり、良い結果が生まれつつあるという報告があった。本当の意味でのバリアフリーが成功するには、すべての区民が同様の感覚を持たなければならない。区にそのための機会を設けて頂きたい。例えば、子育て支援モニターの場も活用してもらいたい。特に、バリアフリーに対する意識を最も持ってもらいたいのは、小・中学生などの子どもと商店街の方である。裾野を広げることにつながるような取り組みを続けて頂きたい。

→<会長>気づきの部分について、住民部会等の参加者の意識レベルは非常に上がりやすい。それ以外の方のレベルを上げることが非常に難しい。前回の策定協議会後に区ですぐに対応された事項として、放置自転車問題がある。学校教育との連携で対応されている。迷惑と分かっても自転車を放置する人がいる。そのような人を後押しするためには、子ども達の絵などを通じてワンクッション置くことが効果的である。そのためには警察等様々な主体が連携して取り組む必要がある。バリアフリーは、1つの部署だけで取り組むものではない。自治体によってアプローチの方法は異なると思うが、全体で取り組まないとうまくいかない。放置自転車を撤去したとしても、行政によるサポートで駐輪場を確保しなければ、子ども達の絵が無駄になるという状況になりかねない。行政の中で一体的な取組に向けた仕組みを作り上げないと意味がない。作業部会を通じた一体的なアプローチを継続してもらいたい。他自治体でのワークショップでは、全課強制参加で実施したこともある。行政職員は異動が頻繁であるため、地域で何が問題となっているかを知る機会が必要となる。荒川区の場合、これからがスタートである。区としては、区内部にのみ目を向けるのではなく、区外の先進事例をまとめてほしい。区外では様々な取り組みがなされている。事例のデータベースを作成し、その中から荒川区で出来ることについて、色々な場面に情報提供していくことが考えられる。また、どのようなアプローチをしたいかという行政側からのメッセージも重要である。

<委員>

- ・心のバリアフリーについて意見がある。公共施設はバリアフリー化が進み、車いす利用者でも入ることが出来るが、日暮里駅周辺再開発ビル内の店舗等では、固定式の椅子が多く、車いすではテーブルのそばに座れない。新しい店舗に行ってみたいと思うが、結局、以前からあるデパートの食堂等に行くことになる。入ることの出来ない店舗がまだまだある。個人の店舗であるから難しいとは思いますが、車いすでも入ることの出来る店舗が増えていくと嬉しい。店舗についての心のバリアフリーは区ではどのように考えているのか。

→<事務局>

- ・バリアフリー基本構想では個店についてまでは触れないが、まさしく心のバリアフリーの問題だと考えている。行政としては、子育てモニター制度の活用や、会合などでの商店街との関わりを通じて伝え、改善につなげていきたい。

<委員>

- ・皆さんとご一緒することでお互いの理解が深まる。そのような会合には是非呼んでほしい。

<会長>

- ・今後に向けたいろいろな意見が出たが、基本構想（案）の内容については了承を得たと言うこととするが、本（案）についてご意見等ある場合には1～2週間のうちに事務局に出していただき、その後、会長・副会長で確認の上、（案）をとって成案とする。

4 その他

- ・事務局より今後のスケジュールについて以下の通り説明
⇒本日の意見を踏まえて議会で報告、HP等で公開していく。
- ・委員名を公表することについて全委員承諾。
- ・持ち帰って1～2週間の間で意見がある場合は事務局に連絡してほしい。意見を踏まえた修正については事務局に一任する。

以 上

日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区バリアフリー基本構想

第3回策定協議会 出欠状況一覧

委員名簿			出欠	
学識経験者		日本大学理工学部社会交通工学科 教授	藤井 敬宏	○
		首都大学東京健康福祉学部作業療法学科 准教授	橋本 美芽	○
		首都大学東京健康福祉学部作業療法学科 助教	石橋 裕	○
区 民	関係団体	荒川区身体障害者更生会	後藤 英一	○
		荒川区聴覚障害者協会	大石 泰延	○
		荒川区視力障害者福祉協会	高橋 悦子	欠席
		荒川のぞみの会	大沼 弘子	○
		NPO 法人 荒川区高齢者クラブ連合会	長谷川 敏男	欠席
		日暮里町会連合会会長 日暮里駅周辺地区交通バリアフリー事業 推進協議会委員	山田 幸雄	○
		荒川区子育て支援モニター	山田 麻里	○
		荒川やさしい街づくりの会	後藤 俊子	○
		関係機関	国	国土交通省関東運輸局交通環境部消費者 行政・情報課長
東京都	都市整備局都市基盤部交通企画課長		安部 文洋	欠席
台東区	都市づくり部地区整備課長		望月 昇	○
交通事業者	鉄道	東京都交通局建設工務部計画改良課長	坂口 淳一	○
		東日本旅客鉄道(株)東京支社企画室企画調 整課長	植松 繁	○
		東京地下鉄(株)鉄道本部鉄道統括部渉外・ 工事調整担当課長	安達 光成	○
	京成電鉄(株)鉄道本部計画管理部計画担当 課長	井上 賢一	○	
	バス	東京都交通局自動車部事業改善担当課長	新山 富弥雄	○
施設管理者 道路・公園等	東京都	東京都建設局第六建設事務所補修課長	長尾 肇太	○
	荒川区	土木部土木管理課長	佐久間 勇一	欠席
		土木部道路課長	伊藤 勝弘	○
	土木部公園緑地課長	川原 宏一	○	
交通管理者	警視庁	荒川警察署交通課長	山本 忠吉	○
執行機関	荒川区	総務企画部長	北川 嘉昭	欠席
		管理部長	佐藤 安夫	欠席
		福祉部長	和気 剛	○
		都市整備部長	倉門 彰	○
		土木部長	緒方 清	○
事務局	荒川区	都市整備部都市計画課長	松土 民雄	○
		都市整備部都市計画課施設計画担当係長	田中 仁一	○
		都市整備部都市計画課施設計画担当	長野 博一	○
		都市整備部都市計画課施設計画担当	柳沢 泰隆	○